



PRESS RELEASE (2018/12/19)

福岡県久山町、九州電力株式会社、九州大学は 持続可能なまちづくりに関する包括提携協定を締結 — 新国富指標を活用した地域・社会の課題解決に向けた取組み —

福岡県久山町(久芳菊司町長)、九州電力株式会社(池辺和弘社長)と九州大学都市研究センター(馬奈木俊介センター長)は、地域・社会の課題解決に向け、持続可能なまちづくりに関する包括提携協定を締結しました。

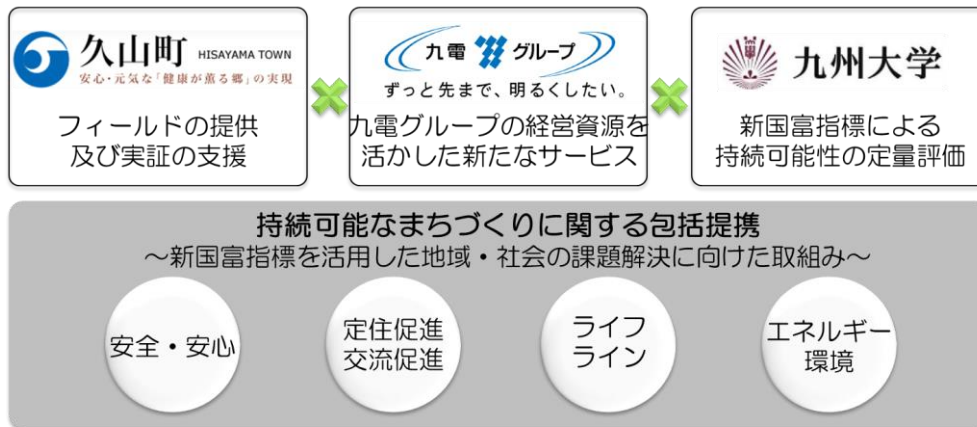
本協定に基づき、九州電力が検討中の新たな事業やサービスについて、久山町を舞台にした実証により事業可能性を追求するとともに、九州大学が研究を進める「新国富指標」を活用し、本取組みによる地域・社会の持続可能性への効果を検証していきます。

この取組みにより、三者がそれぞれの役割のもと、幅広い分野で協働することで、産学官連携による地域活性化モデルの確立を目指します。

【主な取組み】

- (1) 地域や暮らしの安全・安心に関すること
- (2) 定住促進や住民の交流促進に関すること
- (3) ライフラインの整備に関すること
- (4) エネルギーの効率的利用の推進や地域環境保全に関すること
- (5) その他、地域の活性化等に関すること

お互いの役割分担のもと、新たな価値の創造を目指して協働



地域・社会の課題解決、持続的な発展

研究者からひとこと：

技術のある企業と行政が繋がることで、より地域を持続可能に出来ると思います。そのために持続可能な豊かさを計測する国連プロジェクトにより考案された経済指標を活用しようと思います。



馬奈木 主幹教授

【お問い合わせ】 工学研究院・教授 馬奈木俊介(まなぎ しゅんすけ)
Mail: managi@doc.kyushu-u.ac.jp